

第21回大原総合病院 登録医総会を開催しました

令和3年7月1日(木)、一般財団法人大原記念財団 大原総合病院 第21回登録医総会を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染対策にてWebによるオンライン開催となりました。

初めに登録医会 会長 藤原 和雄 先生(藤原消化器科内科医院 院長)からご挨拶をいただき、続いて大原記念財団 理事長 佐藤 勝彦 院長の挨拶の後、大原記念財団の各医療機関(大原総合病院、大原医療センター、清水病院)より、病院の紹介や新任医師紹介、医療機能のPRを行いました。また、地域医療生活連携室から



(写真左下から：土田副理事長 MDV 千葉様) (写真上左から：藤原和雄先生、佐藤勝彦院長)

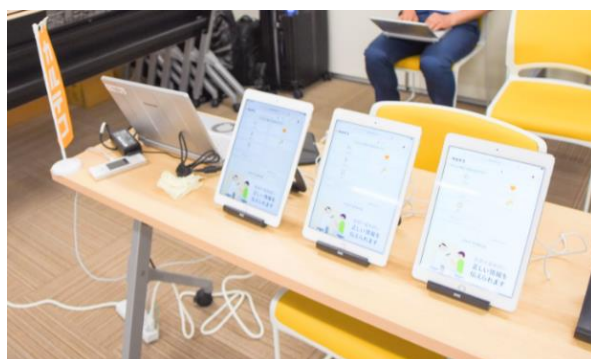
は紹介・逆紹介の現況報告や、今回初めての試みである登録医アンケートの集計結果もご報告いたしました。

講演会では、メディカルデータビジョン株式会社(MDV) 千葉 大輔 様より「住民主体の次世代型地域医療連携システム構想」をテーマに、これから進化していくデジタル技術を浸透させることで、人々の生活は、より良いものへと変革していく時代に移り変わっていくことをご講演いただきました。

ご参加いただきました先生方におかれましては、お忙しい中誠にありがとうございました。

また、今回のアンケート調査にご協力をいただきました登録医の先生方には心から御礼申し上げます。いただきました貴重なご意見やご指摘につきましては、真摯に受け止め改善に努めてまいります。今後とも、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東北初！「カルテコ」導入。7月1日よりサービス開始しました



(写真左から：MDV 千葉様 佐藤勝彦院長)

東北地区で初導入したアプリ「カルテコ」では、国が検討している施策に先駆け、当院「健診予防センター」での健康診断・人間ドックの結果をオンラインで閲覧することが可能になりました。さらに、血圧、服用中の薬やアレルギー、予防接種情報などを登録でき、自身の健康管理にお役立ていただけます。(裏面に続く)

カルテコにより自身の医療・健康情報をデータで管理する PHR(パーソナルヘルスレコード)が実現可能となります。

また、急性期医療における入院・手術・検査結果の記録は大変重要であり、個々での管理以外でも病診連携に欠かせない情報となるため、今後、診療情報の閲覧にも対応していく方針です。「カルテコ」アプリは無料で会員登録が可能ですので、より多くの皆さまにご利用いただき有効活用いただければ幸いです。

日曜健診で当院を利用される登録医の先生方にも健康管理のツールとして是非ご活用ください！
(右の画像のQRコードからダウンロードできます)



医師紹介

7月採用の医師をご紹介します。

7月

アンケート調査へのご協力

ありがとうございました。

泌尿器科

氏名： ^{まかべ}眞壁 ^{しゅんた}俊太

勤務施設： 大原総合病院

出身地： 福島県福島市

専門： 泌尿器科

前勤務先： 福島県立医科大学附属病院

コメント： 7月より赴任致しました。眞壁俊太と申します。出身は福島市です。地元の病院で働くことができうれしく思います。泌尿器科医として福島の医療に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願い致します。



令和3年の6月に実施させていただいた、地域連携に関するアンケートへのご協力ありがとうございました。

今回のアンケートには 45.4%の登録医の先生方にご回答いただきました。アンケートの報告内容につきましては以前にお送りさせていただいた、資料をご参照ください。

紹介依頼から受入れ回答までの時間短縮、土曜休診における当日受け入れ体制の案内、大原医療センター(回復期機能)のご案内など、登録医の先生方からいただいた意見やご指摘に関しましては、今後の連携室の課題として、早急に改善する体制を構築し、より良い地域連携を提供できるように努力してまいります。

○土曜日の外来紹介について

通常外来は休診となっていますが、緊急性のある患者さまは受け入れております。連携室職員は土曜も常駐しておりますので、緊急性のある当日受診については連携室までご相談ください。※土曜日は外来休診の為、予約の調整等は行っておりません。

○診療情報提供書の様式について

当院へご紹介いただく際、必ずしも、当院の書式を使う必要はありません。

紹介元の診療情報提供書の書式、患者情報については、住所、電話番号、保険番号など分かるもので構いません。

○地域医療生活連携室の室長が変わりました



平素より地域医療生活連携室に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和3年7月1日より地域医療生活連携室長を拝命いたしました 飯沼 雅樹 と申します。

地域医療生活連携室は、患者さまの紹介窓口や入院早期からの退院支援介入等を主な業務としており、前方支援から後方支援までを部署内で情報共有しながら業務を行っております。地域の医療機関、介護関連の福祉施設の皆様と「顔の見える連携」を大切にスタッフ一同励んでまいりますので、引き続きのご支援賜りますようお願い申し上げます。

大原記念財団の理念 人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一歩先を行く医療を探求し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制作 大原総合病院 総合患者支援センター

発行者 一般財団法人大原記念財団

理事長 佐藤 勝彦

電話 024(526)0371 ダイヤルイン

FAX 024(526)0935

代表 024(526)0300

住所 福島市上町6番1号

大原記念財団職員行動規範 10カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しいことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。